



大分県内ニュース

地域密着! 郷土のニュースとスポーツ

> 大分県内 TOP

## 大分デバイス 業界団体から技術賞

おすすめ 35 [ツイート](#)

半導体関連の大分デバイステクノロジー (ODT、大分市) は、省エネなどに貢献する次世代パワー半導体の新ビジネスが評価されて、国内を代表する同分野の共同研究体から本年度の技術賞を受賞した。中小企業の実績は初めてといい、15日に県に報告した。

共同研究体は「つくばパワーエレクトロニクス・コンステレーション」(TPEC、茨城県つくば市)。自動車や家電などの電力を制御するパワー半導体は日本が強みを持つ分野であり、その基礎研究を結集するため、産業技術総合研究所が旗を振り、国内企業が参画している。

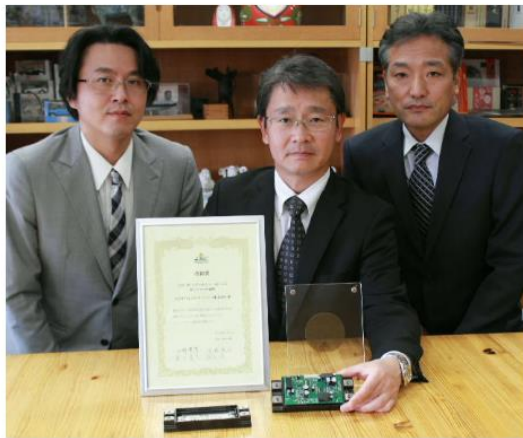
日本の半導体産業が苦境に立つ中、ODTは3年前にパワー半導体への挑戦を決意。大手が中心のTPECに加わり、技術者を派遣するなどして最先端の技術を学び、自社への技術移転に取り組んでいる。

受賞は、省エネや耐熱・耐電圧性能などに優れた次世代パワー半導体の実用化に向けて自社に製造ラインを設置し、受託製造ができる体制を構築した点などが評価された。

現在の製造能力は月産2千個で、2017年度には5万個に増強する計画。エアコンなど量産品ではなく、電車や工場のポンプ、空調など大手が手を出さないニッチな分野で販路を開拓していく考え。

受賞報告では、安部征吾社長が「(中小企業が技術力を武器に奮闘する小説・ドラマ)『下町ロケット』のように、中小企業でも頑張ればできることを示していきたい」とあいさつ。神崎忠彦商工労働部長は「地域をけん引する企業としてますます成長してほしい」と期待した。

※この記事は、12月20日大分合同新聞朝刊5ページに掲載されています。



TPECの技術賞を受賞した大分デバイステクノロジーの安部征吾社長(中央)ら=県庁